

英語英米文学

◇教員◇

教 授 新井潤美、渡辺明、阿部公彦、Barnaby Ralph

准教授 諏訪部浩一、中尾千鶴

助 教 坂元美樹也

◇学生◇

学部 35名 修士課程 12名 博士課程 11名

英文科の中身は、**英語学**、**英文学**、**アメリカ文学**にだいたい専攻が分かれている。「食わず嫌い」はしてほしくないものの、学生諸君には三分野のうちいずれか、好みの専攻の勉強におおむね集中できる仕組みとなっている。そしておのおのが選んだ分野にまつわる卒業論文を仕上げること（分量は、英語の場合7500語程度、日本語の場合20000字程度）で、英文科ライフの「あがり」となる。

英語学は様々な分野に分かれるが、どの分野の研究をするにせよ、言語の一般的な性質・仕組みについて正確な理解を持つ必要がある。そのため、授業では、英語の詳細な事実と、その理論上の意味合いを総合的に把握する訓練に重点をおく。その際、日本語との比較も可能な限り試みる。

一方、英米文学は、英米に限らない英語圏全般の文学作品（詩、小説、演劇、批評など）を対象とする。作品テキストの精読と解釈を不動の出発点としつつ、その背景にある歴史をさかのぼって当時の社会や文化の動向に考察の対象を広げることもあれば、児童文学・大衆文学などのいわゆるサブ・ジャンル、あるいは文学と美術や音楽との諸関係などへと射程を広げることもある。

さて、個々の教員から授業・研究の内容をかいつまんで自己紹介しよう。

新井潤美 教授：

専門分野は**イギリス文学**と**比較文学**。主な関心はイギリスの「階級」の概念と文学における表象であり、特にイギリスの小説と18世紀以降のイギリスの演劇、文化を研究対象としている。「階級」との関連で、「郊外」「教養」「教育」「消費文化」「観光」「他者」といったテーマも扱っている。また、文学作品の映像化を中心としたアダプテーション研究、イギリス文学における「日本」の表象、そして最近ではイギ

リス文学、文化におけるエスニック・マイノリティの表象と受容の研究も行っている。

渡辺明 教授：

統語理論が専門。高度な理論的判断がどのような形でデータの分析に反映されるかということに特に興味がある。最近では形容詞や名詞の下位分類が統語構造にどのような影響を与えるかという問題を中心に研究をすすめている。授業では、さまざまなレベルにおいて、理論の基礎をおさえていくようにしたい。理論的研究というものは、(素人がよく誤解するように)一時のはやりすたりではなく、長年の積み重ねの中から生まれてくる重要な問題をいかに解決するかがその本質である。そのような研究伝統を身につけ、理解に努めるのが授業の主目標となる。そこから、どのようにして新しいものを創り出ししていくかは、それぞれの努力と工夫次第ということになる。

阿部公彦 教授：

英米詩を主要研究対象としつつ、小説や批評にも関心領域を広げている。文学作品の精読を通して、「なぜ人は頼まれてもいないのに語ろうとするのか」「文学作品の言葉は、どこが特殊なのか？ 事務処理の言葉とはどうちがうのか？」といった根源的な問いを立て、そこから「思わず言うつもりでないことを言うとはどういうことか」「なぜ小説では漏れ聞こえた会話が大きな役割を果たすのか」といった個別論にも踏みこんでいくことで文学研究を社会に向けてひらこうと努力している。

諏訪部浩一 准教授：

アメリカの20世紀小説を主な研究対象としてきたが、そもそも小説とはいったい何なのかという大問題に関心があり、したがって19世紀小説を無視しているわけではない。この「大問題」を、個々の文学作品をどうすれば面白く読めるかという実践において考えるのが、当面の方針ということになる。教員の「文学」へのそのような関心は、授業にも当然反映されることにはなるが、それぞれの作品を、それぞれに相応しいスタンスを模索しつつ読んでいく以上、アプローチは限定的というより包括的となるはずであり、そのようにいわば柔軟性を強制する形で受講生自身の問題意識を拡大深化させることを目標としたいと思っている。

中尾千鶴 准教授：

専門は生成文法統語論。言語における文法規則の言語間変異を、主に日本語と英語の比較を通して探っている。特に、文における語の移動や語の削除(省略)

の規則について、それぞれの構文がどのような場合に認可されたりされなかったりするのかを言語ごとに考察している。また、子供がどのようにそれぞれの母語の規則を習得するか、子供の文法と大人の文法がどのように異なっているかといった言語獲得に関する問いにも興味がある。

Barnaby Ralph 教授 :

My main research interest is to do with early modern literature, culture, and comparative aesthetics in Britain. To that end, I often work with rhetorical texts from the seventeenth and eighteenth centuries, which offer useful insights into not only novels, plays, and poetry, but also a broader range of arts such as music, painting, and architecture. Aside from this, my teaching includes courses on critical theory, regional literatures, writing technique, and research methodologies at both the undergraduate and postgraduate levels.

上記の6名の専任教員が担当する専門科目（**概論・概説**や**演習・特殊講義**）に加えて、教養学部や学外から招いた非常勤講師の先生方による専門科目（**英語学特殊講義・英米文学特殊講義**）や学部後期課程の共通選択科目としての英語科目（「**英語後期**(Speaking, Writing, Reading)」や「**アカデミック・ライティング**(Introductory, Intermediate, Advanced)」）も開設されている。また、個別のテーマや作家に関する読書会・研究会も常時複数行われており、専任教員による自主授業的なプログラムも開かれている。

本専修課程で最近特に注目される傾向は、研究職をめざして大学院に進学する学生と並んで、英語力を活かし、出版やマスコミ等だけでなく、金融、製造など一般企業に就職する学生も多くなっていることである。



阿部教授「英語学英米文学演習」(シャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』を読む)の授業風景

以下、参考までに最近の卒業論文の題目を分野ごとに一覧しておく。(順不同)

英 語 学

The Japanese *Tough*-Construction and The Complementizers *no* and *koto*
Erroneous Use of Past Participles by Japanese Learners of English
The Comparison of Comparative Correlative Constructions in English and Japanese
A Study on Classification of Japanese Indirect Passives

英 文 学

Three Women of *The Moon and Sixpence*
What Ishiguro Expresses through Stevens in *The Remains of the Day*
Pride and Prejudice: The Presentation of a New Type of Heroine
The Comedic Element of Misunderstanding of *Emma*
Peer Pressure and Exclusion in *Brave New World* and *Ninety Eighty-Four*
Literacy and Esther's Character in *Bleak House*
What Is Wrong with Nelly Dean?: The Sense of Order in Emily Brontë's *Wuthering Heights*
Bernard's Narrative Failure in *The Waves*
Views on love in *The Taming of the Shrew* and *Kiss Me, Kate*
Law and Order on the Ship: The Language of Sailors in *The Bird of Dawning*

米 文 学

Interpreting Diaspora: An Analysis of Min Jin Lee's *Pachinko*
The Ending of Adventures of *Huckleberry Finn*
A Study of the Narrative of *Winesburg, Ohio*
Narrative and Context in Poe's "Ligeia"
Loquacious and Obscene Portnoy: The Self-Conscious Discourse of an Intellectual Jew
Narrative and Vision in *The Turn of the Screw*
Caroline Compson as the Mother in *The Sound and the Fury*
A Study of the Jewishness in *Goodbye, Columbus*
A Study of *Adventures of Huckleberry Finn*: On Huck and Jim's Separation and Reunions
F. Scott Fitzgerald's View of Class in *The Great Gatsby*
The Requirements for Being a "Beautiful" Grotesque: What George and Helen Get on the Hill in *Winesburg, Ohio*